

湖東厚生病院 公的医療機関等2025プラン

平成29年12月 策定

【湖東厚生病院の基本情報】

医療機関名：湖東厚生病院

開設主体：秋田県厚生農業協同組合連合会

所在地：秋田県南秋田郡八郎潟町川崎字貝保 9 8 番 1

許可病床数：

（病床の種別）

一般 100 床（10 対 1 56 床・地域包括ケア病棟 44 床）

（病床機能別）

急性期 56 床

回復期 44 床

稼働病床数：

（病床の種別）

一般 100 床（10 対 1 56 床・地域包括ケア病棟 44 床）

（病床機能別）

急性期 56 床

回復期 44 床

診療科目：

13 科（消化器内科・循環器内科・小児科・整形外科・リハビリテーション科・婦人科・耳鼻咽喉科・眼科・脳神経外科・内科・皮膚科・泌尿器科・精神科）

職員数：128 名（平成 29 年 10 月 1 日現在）

- ・ 医師 9 名（嘱託 2 名含む）
- ・ 看護職員 76 名（看護助手 4 名含む）
- ・ 専門職 25 名
- ・ 事務職員 18 名

※ 詳細は③参照

【1. 現状と課題】

（1）構想区域の現状

当院は、秋田周辺地域の中でも南秋地域の3町1村（五城目町・八郎潟町・井川町・大潟村）及び山本地域の一部（三種町琴丘地区）が主な診療地域となっております。

当地域の年齢区分別の人口推移は、今後0～64歳人口が大きく減少するのに対し、65歳以上の人口は増加し2025年までは現状で推移する見通しであるため、高齢者の医療需要も現状のまま推移するものと考えられます。（表1）

高齢化率は2015年時点で40%近くに達しており、2020年には40%を超え、2025年には75歳以上人口も27%になると推計されています。

2025年以降は、後期高齢者の増加が止まり若い世代の減少のみとなるため、全体的な医療需要は減少傾向になると思われます。

地域の医療体制については、高度急性期・慢性期に関しては秋田市及び周辺の医療機関が担っており、急性期及び回復期の入院機能や在宅診療及び複数の診療科を備えた総合的な外来診療に関しては当院が担っております。また、当地域は居住系施設の数が多いため、医療と介護の連携が取りやすい環境となっております。

表1 主要診療地域（3町1村+三種）人口推移

	2015年	2020年	2025年
0～14歳（人）	3,663	3,018	2,581
2015年対比（%）		82.4	70.5
15～64歳（人）	21,685	18,744	16,350
2015年対比（%）		86.4	75.4
65歳以上（人）	15,904	16,125	15,587
2015年対比（%）		101.4	98.0

出典：人口問題研究所 男女・年齢（5歳）階級別データ
『日本の地域別将来推計人口』（平成25年3月推計）

（2）構想区域の課題

（1）にあるとおり、当地域は高齢化や近隣都市部（秋田市・潟上市）などへの若年層の流出に伴って人口減少が進んでおり、交通アクセスが容易なため若年世代においては、近隣都市部の医療機関を受診する割合が高くなっております。

2025年に向け高齢者の医療需要は現状のまま推移するものの、64歳以下の医療需要が減少することが予想されます。また、若年層人口の減少により高齢者の単身世帯や夫婦のみ世帯の増加が進み、在宅療養が必要になった際の介護力が低下すると思われます。

入院の医療提供体制については、前述のとおり機能分化が定着しておりますが、外来は周辺地域の医療機関と機能が重複している部分（内科などの高度急性期後の診療）もあり、明確なすみ分けがされておられません。

また、若年層人口の減少により、当院も含め医療者の高齢化や人手不足が進んでおります。「健康で安心して暮らせる地域づくり」へ向け関係機関とのネットワークづくりが必要です。

◎湖東厚生病院年齢別患者構成比率（平成27～29年度実績）

構成比率	年齢区分	外来	入院
	0 ～ 14	10.14%	0.18%
	15 ～ 64	15.60%	5.91%
	65 ～	74.26%	93.91%
	合計	100.00%	100.00%

(3) 自施設の現状

当院では平成26年の新病院開院時に基本理念を「地域を支え地域の皆様に愛される病院を目指します」と改定するとともに、3つの基本方針を策定しました。新しい基本理念、基本方針は、当院のキャッチフレーズ『秋田県で一番、高齢者にやさしい病院』をより具体的な形として表現したものです。

当院は、「湖東地区医療再編計画」で示されているように、秋田厚生医療センターとの緊密な連携のもと、患者が住み慣れた地域で継続的、包括的な地域医療を提供する「地域密着型」の在宅療養支援病院です。地域における高齢者医療に大きな役割を果たしております。

診療体制は、常勤医師9名（うち2名は嘱託）で当直を担当する医師は7名となっております。入院診療は院長をはじめとする内科医師5名と整形外科医師1名で行っており、更に内科医師は在宅診療も行っているため医師への負担が大きくなっております。また、常勤医師の年齢層が高く次世代を見据えた医師の確保が必要です。

【診療実績 平成29年9月30日現在】

- ・一般病棟入院基本料：10対1入院基本料 56床
特定入院料：地域包括ケア病棟入院料 44床

- ・平均在院日数（直近3ヶ月平均）
西病棟（一般病棟）：17日
東病棟（地域包括ケア病棟）：26日

- ・病床稼働率（平成29年9月実績）
病院全体：66.9%
地域包括ケア病棟：81.2%

平成29年10月現在

職 種	人数	備 考
医師	9	嘱託医2名
薬剤師	3	
診療放射線技師	5	
臨床検査技師	5	
理学療法士	5	訪問看護1名
作業療法士	2	
視能訓練士	1	
管理栄養士	1	
助産師	2	
看護師	59	訪問看護5名
准看護師	5	
事務職員	9	
その他	0	
職員計	106	
臨時（看護師）	6	訪問看護1名
臨時（准看護師）	0	
臨時（その他）	16	臨床検査技師2・管理栄養士1・看護補助4・事務9
臨時計	22	
派遣・委託	33	栄養科・医事・地域連携・労務（電気）他
合 計	161	

(4) 自施設の課題

- 安定した医療提供体制の確立

当院が担う高度急性期後の医療を継続して提供していくため、次世代を見据え、年代ごとにバランスのとれた医療職員の確保・配置が必要です。

- 5 疾病 5 事業への対応

高齢者の医療需要の増加が予想される脳血管疾患・心疾患・精神疾患を担当する常勤医師がいないため、循環器内科や脳神経外科等の診療体制強化が必要です。

- 地域包括ケアシステムの推進

湖東地区の中核的な医療機関として、地域包括ケアシステムの下支えを行うため、地域連携体制の強化が必要です。

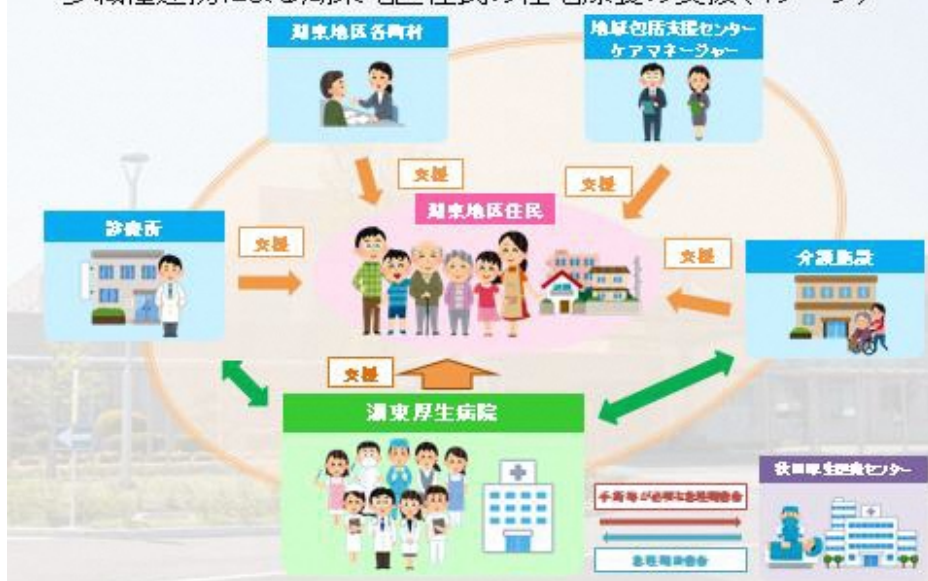
在職医師

診療科	年齢	備考
内科	60代	
内科	60代	
内科	40代	
内科	40代	
内科	30代	
整形外科	60代	(嘱託)
整形外科	50代	
小児科	50代	
眼科	60代	(嘱託)

※ 年齢は 2017/9/30 現在

湖東地区地域包括ケアシステムにおける湖東厚生病院の役割

多職種連携による湖東地区住民の在宅療養の支援(イメージ)



【2. 今後の方針】

① 地域において今後担うべき役割

【入院医療機能について】

高度急性期後を含む一般急性期病棟56床（10：1）

軽度急性期および回復期を担う地域包括ケア病棟44床（13：1）

湖東地域の高齢者を中心とする内科系疾患や整形外科疾患の患者の受け入れを行う。

【外来医療機能について】

現在（2017年度）と同じ13診療科体制を継続していく。

（消・循・小・整・リハ・婦・耳・眼・脳・内・皮・泌・精）

② 今後持つべき病床機能

・現状の診療体制の維持に努め、秋田厚生医療センター等との連携により高度急性期患者の急性期後（post-acute）および回復期医療に積極的に対応できる循環型の包括的診療体制を推進していく。

③ その他見直すべき点

・病床稼働率や周辺地域、医療圏における医療機能などを考慮し、地域の医療機関や施設等と連携しながら、急性期病棟と回復期病棟の有効活用について検討していく。

【3. 具体的な計画】

① 4 機能ごとの病床のあり方について

＜今後の方針＞

	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	5 6		5 6
回復期	4 4		4 4
慢性期			
(合計)	1 0 0		1 0 0

② その他の数値目標について

医療提供に対する項目（平成30年度）

- ・ 病床稼働率： 一般病棟（西病棟） 54%
- 地域包括ケア病棟（東病棟） 77%

・ 紹介率 ： 22%

・ 逆紹介率 ： 11%

経営に関する項目（対医業収益比率）

- ・ 給与費率 ： 64%
- ・ 材料費率 ： 18.9%

【4. その他】

【在宅医療について】

- ・ できる限り患者が住み慣れた地域で継続的、包括的な医療が受けられるよう院内外の他職種協働により、患者の疾患、重症度に応じた在宅医療の提供を行う。